

自己点検・評価報告書

(日本語教育機関の告示基準 第1条第1項第18号)

杏林国際語学院

2023年10月10日実施

(直ちに改善が必要なものを「C」として3段階で評価する)

1. 教育の理念・目標

評価

①	教育の理念、目的・目標は明確であるか	A
②	教育の理念に基づいて育成する人材像が、社会のニーズに合致しているか	A
③	教育の理念が教職員及び学生に浸透しているか	A

2. 機関運営

①	教育の理念や目的に沿った運営方針や事業計画が策定されているか	A
②	組織運営や人事、財務管理に関する規定がなされているか	A
③	意思決定が組織的に行われ、適切に運用されているか	A
④	コンプライアンス意識を高めるための取り組みが行われているか	A
⑤	業務の効率化を図るための点検、評価が定期的に行われているか	A

3. 教育活動

①	教育理念等に沿った教育課程が体系的に編成されているか	A
②	生徒が到達すべき日本語能力の目標が明示されているか	A
③	成績評価や進級、修了の判断基準は明確となっているか	B
④	成績評価に基づいた適切なクラス編成がなされているか	B
⑤	各教員の経験、能力を把握し、適切な教員配置が行われているか	B
⑥	教員間の情報共有及び意見交換の機会が設けられているか	A
⑦	教育活動の改善を図るための点検、評価が定期的に行われているか	A

4. 学習成果

①	生徒の日本語能力向上及び進路に応じた目的意識の獲得が図られているか	A
②	生徒の進路、学習意欲を把握するための定期的な面談が行われているか	A
③	日本語検定、入学試験等の外部試験の指導体制は整備されているか	A

5. 生徒支援

①	生徒に対する学習相談や進路に対する支援体制が整備されているか	A
②	生活面の指導及び必要な支援を行う体制が整備されているか	A
③	医療機関と連携し、健康管理を行う体制が整備されているか	A
④	防災や緊急時における体制が整備されているか	A
⑤	生徒の在留状況、生活環境を正確に把握しているか	A
⑥	生活に係る相談窓口の設置及び休日、緊急時の連絡先は周知されているか	A

6. 教育環境

①	日本語教育機関の施設・設備が十分かつ安全に整備されているか	A
②	教育の理念、目標に沿った教材及びメディアが選定されているか	A
③	学習効率を図るために環境整備がなされているか	A

7. 入学者の募集

①	入学者の選考基準が明確であり、教育の理念に沿ったものであるか	A
②	入学者の書類選考及び面接は適切な方法により実施されているか	A
③	入学希望者及び関係機関に正確な情報提供を行っているか	A
④	入学金、その他納付金は適切であり、入学希望者の理解を得ているか	A

8. 財務

①	中長期的に財務基盤は安定しているか	A
②	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	A
③	財務について会計監査は適切に行われているか	A
④	財務情報の公開の体制はできているか	B

9. 法令遵守

①	入管法及び各種関係法の遵守と適切な運営を行っているか	A
②	個人情報の保護に取り組み、管理体制は整備されているか	A
③	自己点検の実施と改善及びその公開を適切に行っているか	B
④	告示基準への適合性の点検及び関係官公庁への届出を適切に行っているか	A

10. 地域貢献・社会貢献

①	日本語教育機関として社会貢献・地域貢献などの取り組みを行っているか	A
②	ボランティア活動や地域活動への参加、交流などの取り組みを行っているか	A
③	公開講座等の実施などの取り組みを行っているか	B